

(別冊 1)

公民連携実証プロジェクト推進事業

＜行政課題テーマシート＞

目 次

- (1) 孤独・孤立対策 _____ (P2)
- (2) 健（検）診受診率向上 _____ (P3)
- (3) 観光消費額単価の向上 _____ (P5)
- (4) 地産地消の推進 _____ (P6)
- (5) ひとり親自立支援 _____ (P7)

行政課題シート（１）

行政課題テーマ	孤独・孤立対策
---------	---------

実証プロジェクトの内容など
（現状・課題） ○令和６年４月１日に「孤独孤立対策推進法」（以下「法」という。）が施行。 ○「孤独・孤立」とは、人生のあらゆる場面で誰にでも起こり得るものであり、社会全体で対応することが必要。 ○本市としても、生活困窮者支援や高齢者の見守り、自殺対策など、孤独・孤立対策に資する施策を実施しているが、福祉分野だけでなくあらゆる分野で孤独・孤立の視点を含めた公民連携の取組が求められている。 ＜参考資料＞ 令和６年２月２日付け内閣府通知「孤独・孤立対策推進法の施行について（通知）」 https://www.cao.go.jp/kodoku_koritsu/torikumi/pdf/suisinhou_sikou.pdf （求める提案の内容） ○孤独・孤立対策に資する新たな提案や既存の施策の効果的な連携体制や情報発信等につながる提案を求める。 （プロジェクトのイメージ例） ○既存の施策を活かしつつ、様々なステークホルダーが「水平的」に連携できる体制の構築等 ○福祉分野だけでなく、他分野も含めた効果的な情報発信の取組等

事業所管課：健康福祉局 生活福祉部 地域共生推進課

行政課題シート（２）

行政課題テーマ	健（検）診の受診率向上
---------	-------------

実証プロジェクトの内容など
（現状・課題） ○本市は、高齢になっても充実した生活を送ることや、意欲のある人が社会で活躍し続けることができる都市の実現に向け、健康寿命の延伸をめざしている。 ○健康寿命を延伸するためには、市民の死因の上位を占める、がんや循環器疾患等の疾病の予防が必要である。 ○がんや循環器疾患等の疾病を予防するためには、市民が主体的に生活習慣の改善に取り組むことが重要であり、そのためには、健（検）診を受診するなど自身の健康状態を把握することが必要である。 ○国民健康保険加入者の特定健診の受診率は、令和４年度で29.4%と低値であり、中でも生活習慣の改善が疾病の予防により効果的な40～64歳の受診率が20.4%と低いことが課題である。 ○がん検診においては、平成30年度から自己負担金無償化を継続しており、これによって受診率は向上したものの、64歳以下の受診率は、令和４年度で胃がん16.1%、肺がん11.8%、大腸がん14.6%、乳がん46.3%、子宮がん50.8%となっており、目標とする60%と乖離していることが課題である。 ○今後、高齢者が増加する中、40代～60代の健康意識の向上や疾病予防、早期発見・早期治療による重症化の予防を推進するためには、健（検）診受診率を向上させるための効果的な取組が求められる。 ＜参考資料＞ ・「さかい健康プラン」 https://www.city.sakai.lg.jp/kenko/kenko/kenkozukuri/sakai-kenko-plan/index.files/honpen.pdf ・第4期特定健康診査等実施計画 https://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/honen/kokuho/hoken/datahealth_keikaku.files/keikaku_honnpenn.pdf

（求める提案の内容）

○健（検）診の受診率向上に資する提案を募集する。

（プロジェクトのイメージ例）

○健（検）診受診率が低い層（40代～60代）とのタッチポイントの提案。

○また、その層に訴求するようなキャンペーン・イベントの展開。

事業所管課：健康福祉局 健康部 健康推進課

行政課題シート（3）

行政課題テーマ	観光消費額単価の向上
---------	------------

実証プロジェクトの内容など
（現状・課題） ○滞在期間の長期化 ・来訪者は増加したものの宿泊者に取り込めておらず、観光消費額増加につながっていない（国内旅行者日帰り 44.4%、本市来訪者日帰り 90.6%）。 ○ナイトタイムエコノミーの充実 ・夜間の観光コンテンツの創出や情報発信が必要。 ＜参考資料＞ ・「堺観光戦略」 https://www.city.sakai.lg.jp/kanko/kanko/senryakusakutei.files/senryaku-honpen.pdf
（求める提案の内容） ○堺観光の重点エリア内で実施する市内外からの誘客が見込める事業であり、実施時間帯が 18 時から翌日 6 時の間であるもの。 ○新規の事業で市内外からの誘客が見込まれるもの。 ※イベント提案の場合は、平均して月 1 回以上、定期的を実施するものであること。 ※実施にあたり、堺観光コンベンション協会と連携し、堺観光情報の発信、堺市内の周遊促進に係る取組等を実施できること。 （プロジェクトのイメージ例） ○夜の刃物事業所見学やオーセンティックバー巡りツアーの造成等 ○朝 4 時からのサンライズ・古墳巡りツアー等

事業所管課：文化観光局 観光部 観光推進課

行政課題シート（４）

行政課題テーマ	地産地消の推進
---------	---------

実証プロジェクトの内容など
（現状・課題） ○堺産農産物を広く市民に知ってもらうため、登録商標「堺のめぐみ」を軸に大阪エコ農産物「泉州さかい育ち」とあわせて、堺産農産物の利用促進を図っている。 ○本市では地産地消の推進により、都市と農が共存し市民全体で共感する豊かな都市農業の実現をめざし、堺産農産物の地域内利用・販売を促進するため、「堺のめぐみ」の表示の推進と販売場所の充実化、市民が堺産農産物に触れる機会の増加に取り組んでいる。 ○令和５年度からは地域資源を活用した持続的な都市農業の振興を目的に国の「オーガニックビレッジ」に取り組んでおり、市内で生産されている牛ふん堆肥を用いた水稻の実証圃場を設置して、収穫した米の市民へのPRと消費拡大のためのPR等を行った。 ○今後「堺のめぐみ」に加え、「オーガニックビレッジ米」の市民への周知と栽培の普及を図るための取組が必要。 ＜参考資料＞ ○堺産農産物「堺のめぐみ」 https://www.city.sakai.lg.jp/sangyo/nosui/nosuisangyo/sakainomegumi/index.html ○オーガニックビレッジ（市HP） https://www.city.sakai.lg.jp/sangyo/nosui/sonota/ogabire_setumei.html ○オーガニックビレッジ（国HP） https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/yuuki/organic_village.html （求める提案の内容） ○「堺のめぐみ」（オーガニックビレッジ米を含む。）の普及と消費拡大に資する取組 （プロジェクトのイメージ例） ○「堺のめぐみ」（オーガニックビレッジ米を含む）の認知度と話題性を高める取組 ○「堺のめぐみ」（オーガニックビレッジ米を含む）の流通、利活用、販売促進の各分野における効果的な取組

事業所管課：産業振興局 農政部 農水産課

行政課題シート（５）

行政課題テーマ	ひとり親自立支援
---------	----------

実証プロジェクトの内容など
（現状・課題） ○本市は、子どもの貧困対策・貧困の連鎖解消の取組を推進しており、特に貧困率の高いひとり親家庭の経済的自立に重点的に取り組んでいる。 ○母子家庭の母（シングルマザー）は、約 9 割が就労中であるが、その半分は非正規雇用で、経済的に不安定な中で生活を送っている家庭が多い。 ○仕事、育児、家事を一人で担うひとり親は、時間的にも、心身の面でも余裕がなく、現在の生活・仕事の見直し、今後のキャリアプランを考えるための情報や機会が十分でない。 ○本市では、ひとり親の経済的自立に向けた意欲喚起や就労支援を行っており、その利用を促すため、周知の強化に取り組んでいる。 ・新たなひとり親への周知とアンケート 7 百人/年（区役所） ・児童扶養手当現況届時の周知とアンケート 7 千人/年（区役所） ・各種支援機関（福祉系・就労系）、学校園、民間事業者等からの周知 ・アンケート回答に基づくプッシュ型の個別案内 ○より多くの方が必要な情報を受け取り、経済的自立に向けて意欲を高め、行動に移すことができるよう、効果的な周知や支援に取り組む必要がある。
（求める提案の内容） ○ひとり親の経済的自立に向けて、障壁を取り除き、生活の向上やキャリアの構築に繋がる提案を募集する。 （プロジェクトのイメージ例） ○ひとり親の中で、収入増のポテンシャルが高い層とのタッチポイントの提案。 ○また、その層に訴求するようなキャンペーン・イベントの展開。

事業所管課：子ども青少年局 子ども青少年育成部 子どもの未来応援室